

鬼ヶ城山

広島市指定の文化財である
大般若経六百巻がある。

行者山

長崎から望む似島は
まさに瀬戸内から小島富士であった。

海蔵寺

神宗の
湯野孫
大なる

草津八幡宮

長い階段と登り
草津八幡宮

小泉本店

草津のまちなみ
探検

慈光寺

江戸時
この付
泊まり
芝居

大門

に開門の
大門が
あつた。

安芸国養蚕之碑

延宝年間小泉五郎左衛門が
ひび立つのハキの養蚕方法を
考えた功績を表した碑。

おススメスポット

井戸にて絵、印建の宝庫。

さぞ大きかったであろう、
「大門」。小泉本店に残る
大門の金具。

草津には、広島城西の護りのための大門が
ありました。この大門に使われていたと思
われる金具(蝶番にあたるもの)が、江戸時
代後期、天保年間創業の造り酒屋「小泉本店」
の中庭に残っています。金具は二個280kg(大人4
5人分の重さ)があり、相当大きい門であ
ったと想像できます。

鈴ヶ峰

万葉集巻七に
「佐伯山 卯の花持ちし かなしきが
手をし取りてば 花は散るとも」という。
卯の花を持った可愛い娘を恋する愛の歌が載っている。
※佐伯山とは鈴ヶ峰のことという説がある。

観月山上の会飲に題す

類山陽 作

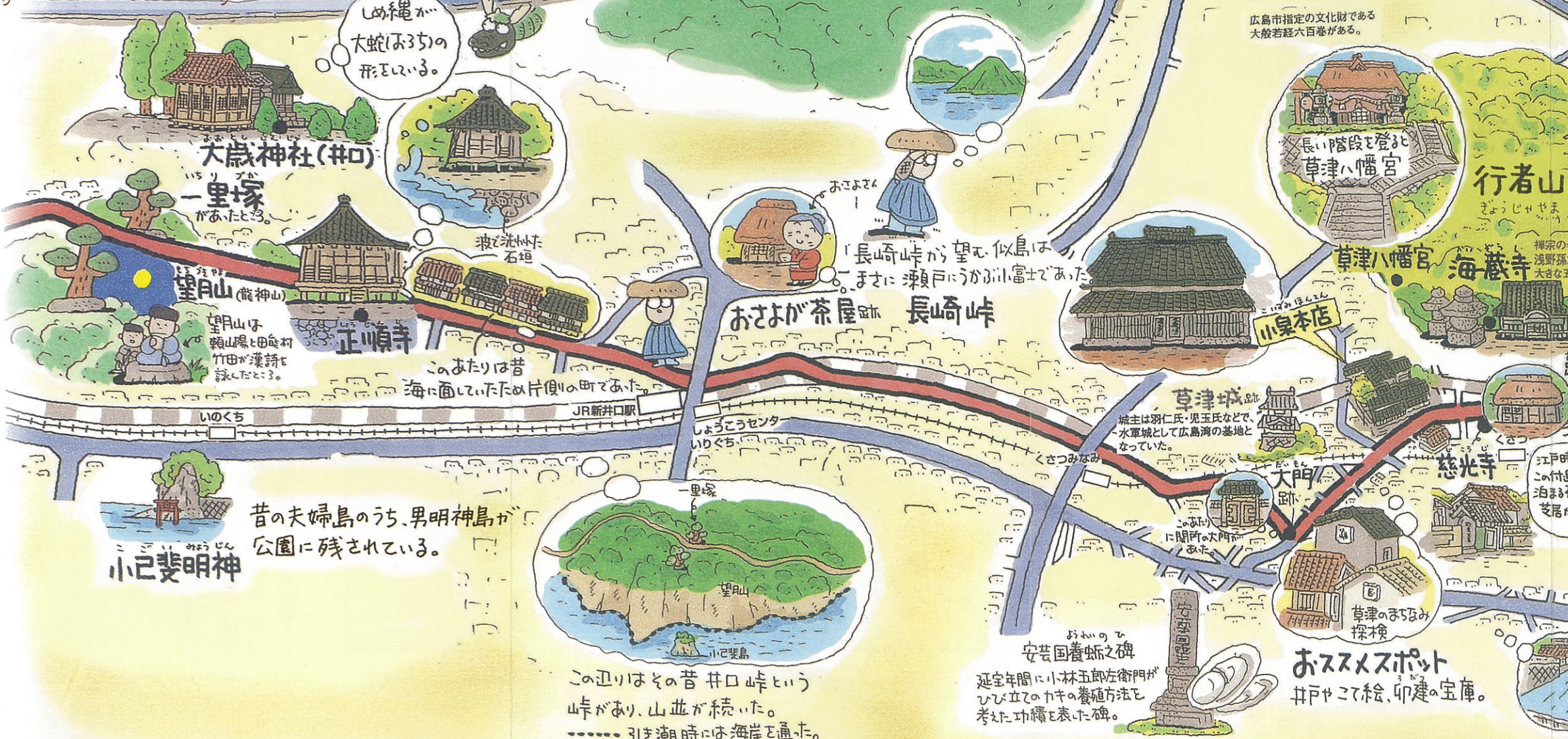
今夕 君と会して林間をのぼり
芝を焼き 酒を温めて 三更に至る
月は天心に懸かりて 銀波明らかなり
終夜 酔を尽くす 観月山

望月山上の 会飲に題す

田能村 竹田作

松下 枯葉を蒐めて 酒を温め
高台 君に對して 相献酬す
月は天心に懸かりて 虫声爽やかなり
望月山上 憂を知らず

※この詩は井口の望月山で詠まれたもの。



草津の町屋

切り妻造りで、椽瓦葺き(さんがわらぶき)、
格子構えの古い町屋がまだ多く残っている。
草津では大火事が度々あったので、塗り籠め
の家や「うだつ」のある家など防火に備えた
町屋建てが特徴になっている。少しではある
が蔵造りの家も見ることが出来る。

組棟

扇形の瓦を交互に
積み上げている。

煙り出し



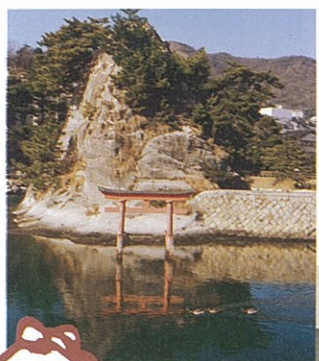
持送り

見事な細工がある。

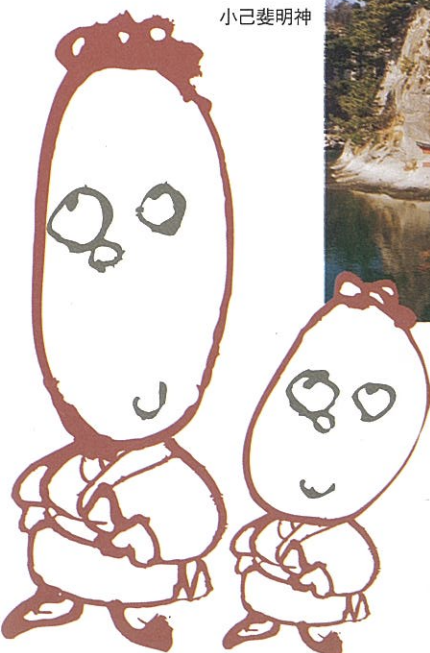


虫籠窓

虫かごにみたてた窓のこと。

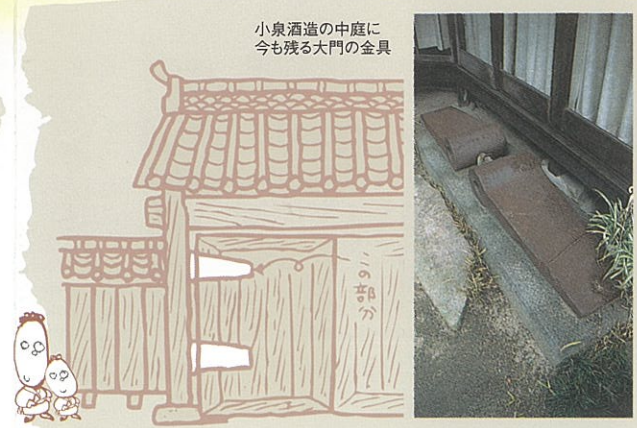


小己斐明神



いつまでも守り伝えたい
「草津けんか神輿」

草津八幡宮で約270年位前から盛大に行われ
てきました。神輿が草津の町中にある4つ
の神社を巡拝する間、所々で神輿同士を激
しく組み合わせる勇壮な行事として広く知
られてきました。平成に入り、一時行事が中
断することもありましたが、平成15年に若
者を中心とした草津八幡宮神輿保存会が
結成され、昔の賑わいを取り戻しつつあり
ます。



小泉酒造の中庭に
今も残る大門の金具



「一度に遠くまで見通せない工夫(遠見
遮断)や身を隠すことのできる家並みなど、
中世の町を想像させる面白い造りを見る
ことができます。」